

新春  
対談

# WE LOVE とよた

## ～私たちの好きな豊田市～



令和7年最初の広報とよたの特集は、とよたPR大使の皆さんと市長の対談です。  
とよたPR大使の皆さんが活動を通じて見つけた市の魅力や好きなおところは、  
市の様々な魅力の発信拠点「博物館」を会場に、それぞれの視点で語っていただきました。



まえがわ まさゆき  
前川 齊幸さん

おかだ まりな  
岡田 真里奈さん

かこ けいこ  
加古 啓子さん

かたやま ゆうな  
片山 祐菜さん

第12期

とよたPR大使

豊田市長

太田 稔彦

[とよたPR大使]

豊田商工会議所が、毎年一般公募しているもので、市内外問わずイベントでの活動に加え、SNSを通じ積極的に市の魅力を発信する役割を担っています。第12期は、2人の学生、社会人、歴代初の男性の4人で9月から活動しています。

## とよたPR大使に任命されたときを振り返って

**市長** とよたPR大使に応募したきっかけや任命された時の気持ちを聞かせてください。

**加古** 私は、豊田市の素晴らしいと思う部分をもっと市内外の人に知ってほしいと思い、挑戦することにしました。合格の連絡が来る予定時刻を過ぎても連絡が来なかったので、不合格だったかと諦めかけていたところに電話が鳴って。「間違いじゃありませんよね」ってびっくりして何度も確認してしまいました。

**岡田** 私は、広報紙にPR大使が掲載されているのを見て、私も豊田市の魅力を発信したいと思ったのがきっかけです。合格の連絡をいただいたときは嬉しくて、心臓がとてもドキドキしたのを今でも覚えています。

### 活動を通じて感じたこと

**市長** 実際にとよたPR大使の活動をやってみてどう感じていますか。

**片山** まだ、慣れないことも多く上手に立ち振る舞うことはできませんが、3人が助けてくれるおかげで、すごく楽しく活動できています。

**前川** 見る側から見られる側の立場になり、普通に生活をしていたらできないような貴重な経験をさせていただいているので、PR大使になってよかったなという気持ちです。

**市長** 活動をしていく中で苦労することもあるだろうけど、楽しく取り組んでほしいと思っています。今までに印象に残っている活動はありますか。

**片山** 私が1番印象に残っているのは、ラリージャパンです。豊田のまち全体がラリージャパン一色になって、世界各国から人が集まるイベントはそうそう体験できない、貴重な経験なんだと感じました。



前川さん

岡田さん



加古さん

片山さん

**前川** 僕は、10月に行われたとよた産業フェスタです。4人揃って初めての仕事だったということもありますが、初めてテレビの生中継に出演し、何も話せなくなるほど緊張したのを覚えています。

**市長** 歴代初の男性大使という点では、周囲からの反響はありましたか。

**前川** 「今年は男性もいるんだね」「ピンク似合ってるね」など声を掛けていただきました。僕自身、ピンクのユニホームが似合うかなと最初は着ることに戸惑いましたが、「似合ってるよ」というお声をいただいて、今は堂々と歩けるようになりました。

### 豊田市の好きなところ、魅力

**市長** 皆さんが思う豊田市の好きなところや魅力はどんなところですか。

**岡田** 私の一番好きなところは、名鉄豊田市駅周辺です。受験勉強をするために通った参考館や友人と時間を過ごした商業施設など私の青春時代の思い出が詰まっている場所がたくさんあります。

**加古** 私は、人の温かさが素敵なところだと思います。市民の皆さんとお話をする際に、私の話にも「そうだよね」と耳を傾けてくださる方がとても多くて温かい気持ちになります。

**片山** 私は、猿投農林高校在学時にモモやナシを作っていたという経験もあり、豊田市の農産物が大好きです。地元の農産物はスーパーで買う他の地域や外国産のフルーツとはまた違う特別な味があると感じています。

**前川** 僕は、大学進学をきっかけに豊田市に来ました。最初は「クルマのまち」というイメージを持っていましたが、実際は自然豊かな場所が多く、過ごしやすいいところが魅力だと思います。

## これからの活動への思い

**市長** 皆さんは今後、PR大使としてどのように活動していきたいと考えていますか。

**前川** 僕は、ありがたいことに歴代初の男性大使に任命していただきました。でも、男性大使だからと気負うことなく、僕たち4人で率先して豊田市の魅力を発信し、市民の皆さんと一緒に豊田市を活気づけていけたらと思っています。とよたPR大使の任期は1年ですが、任期が終わった後も豊田市の魅力を発信していきたいです。

**加古** 私は、市民の皆さんそれぞれの「WE LOVE とよた」を見つけるお手伝いがしたいです。まだ気付いていない豊田市の魅力があると思うんです。有名な観光地もあれば、あまり知られていない素敵な場所もたくさんあります。それは特産品についてもです。私は、そういった皆さんに知られていないことをどんどん発信していきたいと思っています。

**市長** 私も、「当然これは知っているだろう」という先入観は捨ててPRしていく必要があると感じていました。まだ伝わっていない魅力がありますよね。

**片山** 私は、実際に豊田市に住んでいるからこそ、伝えられる魅力がたくさんあると感じています。そういった魅力を伝えることで、市民の皆さんそれぞれが、自分の好きな場所、好きなものを見つけ、豊田市に住んでいてよかったと思ってもらえるような活動をしていきたいです。

**岡田** とよたPR大使になる前も豊田市のことは大好きでしたが、どこが好きなのかは、はっきりと言えませんでした。活動で市内の様々な場所に行く機会が増えたことで、自然豊かで住み心地の良いところ、駅前には商業施設や飲食店が充実しているところ、バランスが取れている豊田市が大好きだと感じました。私自身がこの活動を通じて見つけた豊田市の魅力を発信していき、市民の皆さんにも、豊田市を大好きになってもらいたいです。

**市長** とよたPR大使の皆さんが、今後もさまざまな活動を通じて豊田市の魅力を発信してくださることを力強く感じています。今年も一緒に豊田市を盛り上げましょう。



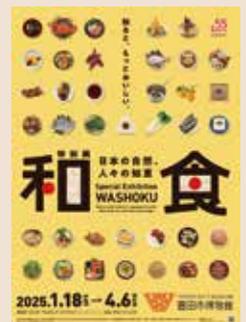
## 新春プレゼントクイズ

市内在住の正解者の中から、博物館の特別展「和食－日本の自然、人々の知恵－」（1月18日（土）～4月6日（日）開催）の入場チケット（ペア）を抽選で5組にプレゼントします。

### 問題

今回対談したとよたPR大使の皆さんは、何期目のメンバーでしょうか。

- 応募方法 1月24日（金）までに①問題の答え ②〒住所 ③氏名（ふりがな）  
④広報とよた1月号の感想を、申込みフォーム、ハガキ、ファックスかEメールで市政発信課（〒471・8501、西町3-60、FAX34・1528、✉shisei@city.toyota.aichi.jp）  
問合せ 市政発信課（☎34・6604）



申込み

## 「和食－日本の自然、人々の知恵－」



ユネスコ無形文化遺産に登録されて10年以上経ち、世界中でますます注目の高まる「和食」。人々の知恵や工夫から生み出された調理技術や歴史の変遷。約250点の標本や資料を通して、身近なようで意外と知られていないその魅力に迫ります。

- 会期 1月18日(土)～4月6日(日)  
午前10時～午後5時30分(入場は午後5時まで)  
※2月24日を除く月曜日は休館
- 観覧料 一般1,900円(1,700円)、高校・大学生1,400円(1,200円)  
※カッコ内は前売り・20人以上の団体料金

### 土井善晴氏講演会 in 市民文化会館

- とき 2月15日(土)午後2時～3時30分
- 申込み 1月18日(土)～2月1日(土)に博物館ホームページか、往復はがき(消印有効)で博物館(〒471・0034、小坂本町5-80) ※応募者多数の場合抽選(定員380人)



ホームページ



## 特集2 わがまちミュージアム 新春コレミテ!

## 「おいしい民窯－食のうつわ」

「民窯」とは、日々の生活の中で使う器や道具などを焼く窯、またはそのやきもの自体を指します。本展では、瀬戸焼をはじめ全国の民窯のやきもの、民藝運動をけん引した柳宗悦の盟友・河井寛次郎や濱田庄司による器など食にまつわるやきもの約200点を紹介します。

- 会期 1月11日(土)～5月25日(日)午前9時30分～午後5時  
※1月13日、2月24日、5月5日を除く月曜日は休館
- 観覧料 一般500円、高校・大学生300円

### 記念講演会

2月22日(土)午後2時～3時30分



ホームページ

### とよた旬レシピ

29ページの料理写真に、展示品の器を使用しています。



1



2



3

1/鉢鉢 福島県会津本郷、2/左：とくさ文蓋付飯茶碗、右：麦葉手蓋付飯茶碗 瀬戸、3/抱瓶 沖縄県壺屋

企画展  
「玉山拓郎：FLOOR」

愛知県にゆかりのある新進気鋭の現代作家、玉山拓郎の最新作を紹介。当館の特徴的な展示空間に巨大な構造物を買入させ、日常的で様々なスケールが保たれ、ずらされる、未知なる領域を作り出します。

- 会期 1月18日(土)～5月18日(日)  
午前10時～午後5時30分(入場は午後5時まで)  
※2月24日、4月28日、5月5日を除く月曜日は休館
- 観覧料 一般1,200円(1,000円)、高校・大学生1,000円(800円)  
※カコ内はオンラインチケット・前売り・20人以上の団体料金  
※本チケットで下記2つの展示・常設展を観覧可
- 前売券 1月17日(金)までT-FACE B館2階インフォメーション、メグリア10店舗で販売

MV01、2024 Photo: Kohei Omachi (W)

## 対談：玉山拓郎と中尾拓哉(美術評論家)

- とき 3月23日(日)午後2時から
- その他 当日直接会場(講堂)  
※先着150人

オンライン限定  
他の企画展との  
お得なセット券も！

詳しくは美術館  
ホームページ



## 新収蔵品展

## 「求心力・遠心力—90年代以降の(日本・美術)を中心に」

- 会期 1月18日(土)～2月16日(日) ※観覧料などは美術館ホームページ

お餅、おせち料理、七草がゆ…。  
新年を迎え、昔ながらの「和食」を食べることの多いこの季節。  
博物館と民芸館では、「和食」にちなんだ特別展がこの1月から開催されます。  
美術館では、リニューアルオープンする高橋節郎館を含め見逃せない展示が目白押し。  
是非お越しください。



若林奮《残り元素 V》1966年

美術館 高橋節郎館  
Urushi-Art

## 高橋節郎館リニューアルオープン記念

## 「高橋節郎展—我逢人 われ人に逢うなり—」

約1年間の改修工事を終え、美術館開館30年である今年1月にリニューアルオープン。  
装い新たに迎える最初の展覧会では、漆芸家・高橋節郎の「人」と「作品」を改めて紹介するとともに、彼の芸術性に影響を与えた人々にも焦点を当てます。

- 会期 1月18日(土)～5月18日(日)  
※時間などは上記美術館企画展に同じ
- 観覧料 一般500円(400円)、高校・大学生300円(200円)  
※美術館の新収蔵品展・常設展も観覧可

講演会「高橋節郎の漆パネル」

漆実技講座

2月2日(日)午後2時～3時30分

3月16日(日)

※いずれも要申込み。詳しくは美術館ホームページ

右：高橋節郎《標》1978年

下：高橋節郎《花の星座》1949年

